

態

五年 面数 14
筆順
オン タイ

育能態



「可能(できる)」という意味の「能(5筆7画)」と、「心」を組み合わせて作った字です。
心に「これはきつとできる」と思うことを表した字です。心に「できる」と思うと、それは「すがた」や「ふるまい」にあらわれるものです。それで、「すがた」や「ふるまい」という意味に使われます。

使い方

▽ぼくの妹は正直で、心の中がすぐ態度にあらわれます。だから、妹の顔つきや態度を見ていれば、何を考えているのか、すぐわかってしまいます。

▽わたしは夏休みの宿題として、こん虫の生態を調べることになりました。こん虫がえさを探す実態や、体の状態などを観察しました。

熟語例

- ▽態度(心の中が表にあらわれたすがた。ふるまい)
- ▽生態(生きているすがた。とくに、動物や植物が自然の中で生きているようすを言います。)
- ▽実態(実際のすがた)
- ▽状態(すがた。ありさま)
- ▽形態(すがたかたちや、ありさま。「新しいロケットの形態を想像する」などというふうに、つかいます。)
- ▽姿態(すがたかたち。体つき。「すらりとした姿態がうらやましい」などというふうに、つかいます。)
- ▽容態(ようす。とくに、病人のようす、病気のぐあい、という意味です。「病人の容態はどうですか」などというふうに、つかいます。)

団

五年 面数 6
筆順
オン ダン・トン

口 冂 冂 冂

成り立ち



円い形を表した「口」と、長さの基準であり、「よりどころ」という意味を表した「寸」とを組み合わせて作った字です。

「しつかりした「よりどころ」があって、一つに円くまとまったもの」を表した字です。

「まるいもの(例団子)」という意味や、「まとまり」「集まり」という意味につかわれます。例集団、団体、楽団、劇団。

〔旧字体は「團」。円い糸巻きの形を象った「專」と円形を表した「口」との会意・形声字である。糸巻きに円く巻きつけるので、「円い」という意味を表したものである。〕

使い方

▽わたしは学校の合唱団に入っています。団員は全部で三十五人です。合唱団では色々な歌を歌うので、とても楽しいです。

▽集団の力というものは大したものです。一人一人の力は弱くても、全員が団結すれば、びっくりするような成果があがるものです。

熟語例

- ▽集団(大勢の人や、たくさんものの集まり)
- ▽団体(大勢の人が、一つの目的のために作った集まり。「団体旅行は気楽で良い」などというふうに、つかいます。)
- ▽楽団(音楽の演奏をする団体)
- ▽劇団(演劇を上演する団体)
- ▽合唱団(合唱をする団体)
- ▽団員(団体に入っている人)
- ▽団結(大勢の人が集まって、強く結びつくこと。)
- ▽入団(団体に入ること。「子供の劇団に入団して、お芝居をしてみたいと思います」などというふうに、つかいます。)